

2013年度第1回執行理事会議事録

期 日：2013年5月18日（土）10:00～12:00

場 所：北とぴあ 第2研修室

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 井龍 坂口 高木 中澤 内藤西 平田 星 松田 山本、(事務局) 橋辺

欠席者（委任状提出あり）：伊藤 保柳 山口 山路

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者14名，委任状4名，合計18名の出席。

I 審議事項

1. 前回の議事録が確認され，承認された。
2. 各賞に関する規則改正案の確認並びに選考委員会への申し送り事項改正案と申し送り事項が提案され，これを理事会に諮ることとした。
3. ロンドン地質学会との学術交流協定について協定文案が提案され，執行理事会として承認した。理事会に諮ることとした。
4. 総会運営の確認

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会 進捗報告（小嶋理事、代理齋藤）
2. 原子力規制庁へのパブリックコメントの提出
3. 第2回G-EVER国際シンポジウム，第1回IUGS・日本学術会議国際ワークショップ
アジア太平洋地域の災害とリスクマネジメント：沈み込み帯の地震・津波・火山噴火・地すべり
両会議について協力を依頼されていることが報告されたが，連続日程ではあるものの，それぞれ別の会議として扱うこと，また協力内容も具体的に示してもらうこととなった。
4. 中期ビジョンWG委員の立ち上げ
 - 1) 委員氏名：伊藤喜宏（東北大）内野隆之（産総研） 亀高正男（ダイヤコンサル） 須藤 斎（名古屋大） 須藤 宏（応用地質） 高桑祐司（群馬県立自然史博物館） 田村嘉之（千葉県環境財団） 棟上俊二（福岡教育大） 西川 徹（海洋研究開発機構） 丹羽正和（原子力開発機構） 藤原 治（産総研） 渡来めぐみ（茗溪学園） 井龍康文（東北大学） 坂口有人（山口大学） 山本高司（川崎地質）
 - 2) 今後の予定：～9月：メール会議，9月：小集会（仙台）
秋以降：中間報告と会員からの意見収集
未定：提言書提出。総会での報告
5. 地惑連合の学協会長会議議長（＝大会委員長）

は現在、石渡会長であるが今大会で交替となり、次期は順番で地球生命科学セクションの古生物学会長になる予定。

6. 広域的な火山防災対策に係る検討会による「大規模火山対策への提言」（2013/05/16）について社会的に重要なテーマであり，かつ検討会メンバーに会員も参加しているので注視し，バックアップしていく。

(2) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 群馬県立自然史博物館第43回企画展「甦れ！カミツキマッコウ 古代ゾウ～巻頭に眠る太古の生き物たち～」(7/13-9/1)の後援を承諾
2. 「第6回地質の日記念」&「南紀熊野ジオパーク応援」イベント、下記の2件の後援を承諾宇久井ビジターセンター「知玉の浜のオーソコーツアイト探し」(5/11)
近畿地方環境事務所「ジオパークをめざして川舟で下る熊野川」(5/12)
3. 第四紀学会よりの国際第四紀学連合（INQUA）第19回大会（2015、名古屋）の共催依頼を承諾
4. 2013年度日本地球化学会第60回年会（9/11-13，筑波大学）の共催依頼を承諾
5. 科学教育研究協議会よりの「第60回全国研究大会」（8/2-4，岩手県北上市）後援依頼を承諾。
6. 日本科学技術振興財団の「青少年のための科学の祭典2013」（5/19-3/31）後援依頼を承諾。同祭典、2012年の事業報告あり。
7. 尾瀬保護財団より「第17回尾瀬賞」の募集（4/1-8/31まで）→News誌、HP、geo-flashに掲載
8. 山田科学財団より、国際学術集會開催助成：募集期間4/1-2014/2/28、会議規模150名以内、助成金額700万円以内→News誌、geo-flash、HPに掲載
9. 文科省、「一家に1枚」ポスターの企画募集（6/13 〆切）
広報委員会で検討する。

<その他>

1. 石油技術協会の80周年記念式典・講演会へのご招待（6/25、経団連ホール）
渡部副会長が出席する
2. JABEE総会開催通知（5/27、建築会館ホール）事務局が出席する
3. 「知識基盤社会における学問的誠実性保証に関する国際比較研究グループ」（代表東北大学教育支援センター長羽田貴史）よりの「研究活動における倫理に関する調査」に回答した。
4. 海上保安庁より海底地形名称の提案募集 →HP、

geo-flashに掲載

5. 石灰石鉱業協会役員交代挨拶

<会員>

1. 今月の入会者 (11名)

正会員 (3名) : 岩見崇弘, 竹内真司, 佐藤恭一
正 (院割) 会員 (7名) : 中野龍二, 山口千尋, 並木由香, 片岡達也, 八木雅俊, 安藤佳凜, 白井孝明

正 [学部割] 会員 (1名) : 山上 諒

2. 今月の退会者

正会員 (7名) 高橋奈津子, 小谷綾香, 伊藤康人, 瀧井喜和子, 北村重浩, 筒井正明, 石田光男

3. 今月の逝去者 (3名)

正会員 : 三谷 豊 (2012年12月5日) 竹内清和 (2013年5月6日) 鈴木尉元 (2013年5月13日)

4. 2013年1月末日会員数

賛助:26 名誉:69 正会員:3781 (正会員: 3682, 正 (院割) 会員: 98, 正 (学部割) 会員: 1 合計 3876 (昨年比 -108)

<会計>

- ・会計監査を5月15日に行った。

(3) 広報部会 : 広報委員会 (内藤・松田)

- ・HPの英語版の充実を図る一環として、会長のご尽力により、歴代受賞者の掲載、役員欄に執行理事の役職を英語で掲載した。
- ・ジオルジュ3号を刊行した。

(4) 学術研究部会 : 行事委員会 (星)

- ・仙台大会のセッションとシンポジウムは他学会との共催が決定。オフィオライトの国際シンポジウムおよび岩石鉱物関係のセッションは日本鉱物科学会と共催。堆積関係レギュラーセッションは日本堆積学会ほかと共催。
- ・2014年の鹿児島大会は日程が9/13-15に決定。巡検は9コースの予定で、案内書の編集は山口大が担当。
- ・2016年大会 (関東支部担当) は、会場と日程を検討中。

(5) 学術研究部会 : 国際交流委員会 (井龍)

- ・大韓地質学会2013年10月に年会 (済州島) への招待を受け、ウォリス副会長、高木理事を派遣することとした。
- ・タイ地質学会との合同シンポジウム開催 (於バンコク) の意向打診があり、久田理事が担当する。

(6) 編集出版部会 : 地質学雑誌編集委員会 (山路)

- 1) 編集状況報告 (4月1日現在).
- ・2013年度投稿論文 総数35編 [論説17 (和文16 英

文1)・報告3 (和文3)・口絵3 (和文2, 英文1)・巡検案内書12]

- ・査読中34編 (巡検案内書を含む)
 - ・受理済み18編 (うち通常号6 特集号9 案内書3)
- 2) 掲載状況
 - ・119巻5月号 : 通常号 (約60頁 : 5/20校了予定)
 - ・119巻6月号 : 通常号 (約60頁 : 入稿準備中)

(7) 編集出版部会 : Island Arc編集委員会 (伊藤)

- ・編集状況報告
- ・誌名変更の件は検討の結果Island Arcを継続することとなった。このプロセスを通じて立ち位置の再確認ができた。

(8) 編集出版部会 : 企画出版委員会 (山口)

- 1) 電子出版関係
 - ・「白滝ジオパーク」および「地学を楽しく」の原稿の校閲終了。修正待ち。

(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

- 1) 地質の日本部事業, 街中ジオ散歩実施報告 : 定員を超える参加者があり盛会であった。
- 2) 2013年度春季地質調査の研修の実施 : 5/27-5/31、参加者は定員通り6名の予定

以上

2013年6月8日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞